

第1学年1組 国語科学習指導案

1 単元名 くらべて よもう「じどう車くらべ」

2 単元設定の理由

【児童について】

- 本学級の子どもたちは、1学期に「くちばし」の学習で、「問い」に対する「答え」を捉えたり、文と挿絵を照らし合わせながら内容を理解したりする学習を行っている。また、読み取った内容を根拠に、動作化したり、絵で表現したりする学習を経験してきている。しかし、事柄の順序を考えながら読むことはまだできていない。

そこで、事柄の順序を考えながら「問い」に対する「答え」を読み取る力を身に付けさせたいこの期に、本単元を取り上げる。そして、文章全体の構成をつかんだうえで、自動車の「つくり」について丁寧に読み



【教材について】

- 本単元は、「問い」に対する「答え」が列挙された文章からそれぞれの自動車の「しごと」と「つくり」を読み取ることを通して、事柄の順序を考えながら「答え」を読み取る力を身に付けさせることをねらいとしている。そこで、「しごと」に合っている「つくり」になっているのかを考えることを通して、自分の知識や体験と結びつけて考えをもつことができるようにしたい。
- 本教材は、子どもたちにとって身近な自動車について書かれている説明的文章の教材である。自動車についての「しごと」と「つくり」の2つの問いに対する説明が2つの段落に分けて書かれていることから、事柄の順序が捉えやすくなっている。3種類の自動車が、同じ文型の繰り返しによって説明されているため、それぞれの「しごと」と「つくり」について比べながら理解していくことができる。また、説明されている自動車の「しごと」と「つくり」だけでなく、その他の自動車に対しても関心をもち、自分で調べたり表現してみたいという意欲を生み出すことができる教材である。さらに、言葉で記述された内容が挿絵によって補足的に説明されていることから、挿絵の効果についても考えることができる教材である。
- 本単元に関しては、1学期の「くちばし」で、「問い」に対する「答え」を捉えたり、文と挿絵を照らし合わせながら内容を理解したりする学習を行い、2学期の「うみのかくれんぼ」で、「問い」に対する「答え」が列挙された文章を、事柄の順序を考えながら読む学習を行っている。本単元では、これらの上に立って、文章を事柄の順序を考えながら読み、「問い」に対する「答え」を読み取るようにする。このことは、次単元「どうぶつの赤ちゃん」において、時間的な順序や事柄の順序を考えながら読む学習へ

【単元全体では、こんな表現活動を】

- 本単元では、文章全体の構成をつかんだうえで、自動車の「つくり」について丁寧に読み取らせ、「しごと」と「つくり」の関係を理解することができるようにしたい。そのために、読み取ったことをもとに「つくり」の絵を描いて、その根拠となる言葉について話し合う。また、「つくり」の理由について自分の考えを書き、交流することによって、「しごと」と「つくり」の関係について理解を深めていく。

【本時（6／13）では、こんな表現活動を】

主語や文末表現に着目しながら、クレーン車の「つくり」について読み取り、読み取ったことをもとに絵を描き、その根拠となる言葉について話し合う。そして、「つくり」の理由について自分の考えを書き、ペアや全体で伝え合うことによって、クレーン車の「しごと」と「つくり」の関係を理解することができるようにする。

3 目標

- 文の中における主語・述語の関係に気付いたり、日常生活や体験したことを表す語句を増やしたりすることで、自動車の「しごと」と「つくり」について理解することができるようにする。 (知識及び技能)
- 「問い」に対する「しごと」と「つくり」が繰り返されている文章を、事柄の順序を考えながら読み、「しごと」にあった「つくり」になっていることを読み取ることができるようにする。 (思考力、判断力、表現力) 【読むこと】
- 自動車について説明されている絵本や図鑑、文章を読み、進んで調べようとする態度を育てる。

4 単元計画（全13時間）

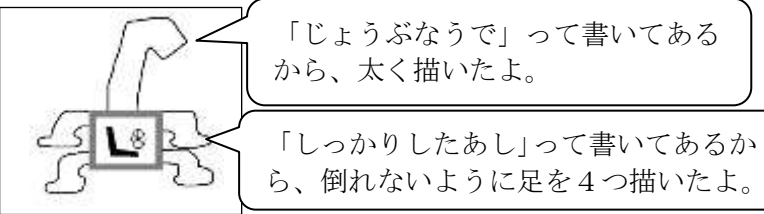
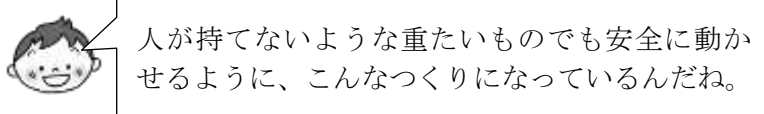
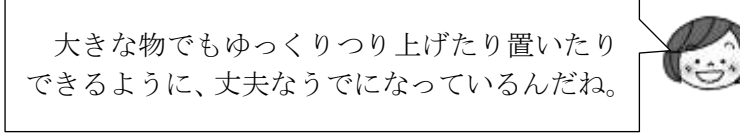
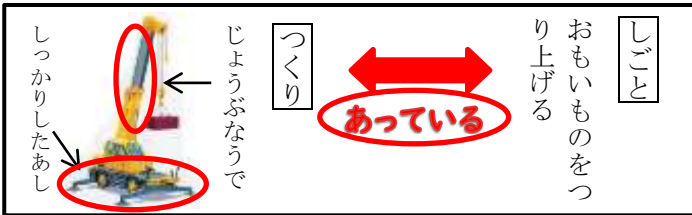
	学習活動	主な支援
つ か む ②	1 教材文と出会い、めあてと学習の見通しをもつ。 (1) 様々な自動車について想起し、単元のめあてをもつ。 ○ 題名読みをして、自動車について知っていることや、自動車の写真を見ながら気付いたことを出し合う。 ○ 自動車のどこに違いがあるのか確かめて、単元のめあてを立てる。	○ 自動車には様々な違いがあることを捉えさせるために、拡大した挿絵を提示する。 ○ 自動車に対する興味関心を高めるために、教室に「自動車図鑑コーナー」を設置する。
	単元のめあて じどう車の「しごと」と「つくり」をしらべて、じどう車ずかんをつくろう。	
つ く る ④ 本 時 6 ／ 13	(2) 教材文を読んだり、教師が書いた自動車カードを見たりして、学習の見通しをもつ。	
	2 教材文「じどう車くらべ」を読み、それぞれ自動車の「しごと」と「つくり」について読み取る。 (1) 「じどう車くらべ」の「問い」を捉える。 ○ 「しごと」と「つくり」の意味を考える。 (2) バスや乗用車の「しごと」と「つくり」について読み取る。 ○ バスや乗用車の「つくり」について詳しく読み取り、「しごと」と「つくり」の関係を考える。 (3) トラックの「しごと」と「つくり」について読み取る。 ○ トラックの「つくり」について詳しく読み取り、「しごと」と「つくり」の関係を考える。	○ 問いの文を明確にするために、「しごと」と「つくり」の意味、「そのために」の役割を押しやる。 ○ 何について書かれている文か調べるために、「～は」「～が」に着目して主語を確かめる。
	(4) クレーン車の「しごと」と「つくり」について読み取る。 ○ クレーン車の「つくり」について詳しく読み取り、「しごと」と「つくり」の関係を考える。 (本時)	○ 「つくり」について詳しく読み取ることができるようにするために、絵に描かせたり、動作化させたりする。
深 め る ②	3 はしご車の自動車カードを作る。 (1) はしご車の資料を読み、「しごと」と「つくり」について読み取ったことを出し合う。 (2) はしご車の「しごと」と「つくり」を自動車カードにまとめる。	○ 本や図鑑の文章から「しごと」と「つくり」を捉えやすくするために、「しごと」と「つくり」が分かる表現の例を提示する。
生 か す ⑤	4 絵本や図鑑を読み、「じどう車ずかん」を作る。 (1) 自分の選んだ自動車の「しごと」と「つくり」について、絵本や図鑑で調べる。 (2) 「しごと」と「つくり」を説明する文章を書く。 (3) 清書をして、絵を描いてカードを完成させる。 (4) 「じどう車ずかん」を完成させる。 (5) 図鑑を読み合い、感想を伝え合う。 ○ 友だちの図鑑を読んで、分かったことやいいところを伝え合う。 ○ 学習を振り返り、まとめる。	○ 意欲的に自動車カードを作ることができるように、教師が作った自動車カードを提示する。 ○ 友だちのよさに気付かせるために、完成した自動車図鑑を交流させる。

5 本時主眼

- クレーン車は、安全に荷物をつり上げたり置いたりする丈夫なうでと、しっかりした足がある「つくり」になっていて、重い物をつり上げる「しごと」に合っていることを理解することができる。

6 準備 拡大挿絵 学習ノート 既習図 クレーン車の写真

7 展開

段階	学習活動と内容	主な支援 (※主な発問)
つかむ	<p>1 教材文からクレーン車の「しごと」を読み取り、本時学習のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ クレーン車の「しごと」を読み取る。 しごと おもいものをつり上げる ○ 本時のめあてをつかむ。 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">クレーン車の「つくり」をよみとろう。</p> <p>2 クレーン車の「つくり」を読み取り、その理由について、自分の考えをつくる。 (表現活動②)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ クレーン車の「つくり」について読み取ったことをもとに絵を描き、ペアや全体で確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 何について書かれている文なのか調べるために、「～は」「～が」に着目して主語を確かめさせる。 ○ 前時までの内容を振り返らせるために、既習図を掲示しておく。 ○ 自分の考えをつくらせるために、考えをつくる手順を提示する。
つくる	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ クレーン車の「つくり」の理由を考えてノートに書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・いえをつくるときに大きな木などを はこぶから ・ぼくたちがもてないものをものも もちげてくれるから ・クレーン車がたおれたら、ものがこわれたり、まわりのものがこわれたりするから </div> <p>3 考えたことについて友だちと話し合い、読みを深める。 (表現活動③)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「つくり」の理由について出し合い、比べ合う。 (<ペア> → <全体>) 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【表現活動②の手順】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「つくり」が表れている言葉に線を引く。 ・書かれていたことをもとに、「つくり」の絵を描く。 ・「つくり」の理由を考え、ノートに書く。 </div> <p>※ どうしてこんな「つくり」になっているのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全員が自分の考えをつくることができるように、書き方のモデルを提示する。
深める	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ クレーン車の「しごと」と「つくり」の関係をまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全員が自分の考えを発言できるように、ペア交流の場を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【表現活動③の目的・支援】</p> <p>自分の考えを伝え合うことで、「つくり」が「しごと」と合っていることを捉える。</p> <p>ペア交流が活性化するように、交流のモデルを提示する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「しごと」と「つくり」の関係を捉えやすくするために、「しごと」と「つくり」とその理由を構造的に板書する。 ○ 考えの深まりや伝え合う活動のよさを感じ取らせるために、「今日の学習で」の書く観点を示す。
生かす	<p>4 「今日の学習で」を書いて学習をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 振り返りの観点に沿って「今日の学習で」を書く。 ○ 書いたことを発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すごいと思ったこと ・新しく気付いたこと ・友だちの意見を聞いていいと思ったこと